

---

## QA20 雨の日に一時的に空間線量率が高くなるのはなぜですか。

---

大気中にある天然の放射性物質（ラドンやラドンが壊れてできる物質）が、雨に洗い流されて落下し、地表面に集まるため、地表面近傍の空間放射線量が上昇するもので、降雨時には東京電力福島第一原子力発電所事故以前にも観測されていた自然現象です。これらの物質が放射線を出す期間は短く（物理的半減期が短い）、雨が止んでから概ね1時間以内に線量は降雨前の状態に戻ります。

参考リンク：新潟県「天気や場所により放射線量が違う理由について教えて」

<http://www.pref.niigata.lg.jp/houshasen/1206291659936.html>

---

出典：放射線医学総合研究所ウェブサイト「放射線被ばくに関する Q&A」より作成

出典の公開日：平成 24 年 4 月 13 日

本資料への収録日：平成 24 年 12 月 26 日